

奨学金「貸与」から一部「給付」へ 奨学生の返還負担 大きく軽減



◆インタビュー◆

交通遺児育英会(菅谷定彦会長、東京都千代田区)は1969年5月の設立以来、交通遺児等の高校生への奨学金貸与を皮切りに、大学、大学院、専修・各種学校まで修学支援対象を拡大してきた。また、2020年度からは奨学金の一部給付を行うことを新たに決定した。こうした状況について石橋健一理事長に話を聞いた。

修学支援対象範囲を拡大

—修学支援の変更にについて
「2月に開催した臨時理事会において、来年4月から奨学金の一部給付を実施することを決議した。定款の事業に関する規定の一部を『奨学金の貸与』から『奨学金の貸与又は給付』に改めた。主事業である奨学金の貸与について、一部を給付とすることとなり、奨学生にとっては返還負担の軽減が図られることになる」

—交通遺児育英会の修学支援事業について
「本会の修学支援事業は、まず奨学金・入学一時金等の無利子貸与があり、返還開始は貸与終了6ヵ月後からとなる。次に奨学金貸与以外では、修学支援金給付事業として自宅外通学者への家賃補助、高校奨学生への上級学校進学受験費用補助、自動車運転免許取得費用補助を行っている。当会設立からこれまで、高等学校以上の交通遺児約5万6,700人に累計54.9億円を無利子貸与している」

—定款変更の経緯は
「交通遺児家庭において高等学校、さらに上級学校への進学には経済的負担が大きくなり、奨学金の利用者が増加する一方、卒業後の返還負担が

交通遺児育英会 石橋 健一理事長

寮費値下げや家賃補助も

—これまでの支援事業拡大策は
「2015年以降の取り組みとしては、15年度上期より

重荷となっている。こうした中で、本会では奨学金は無利子貸与としているほか、上級学校進学時の受験費用補助や、経済状況に応じた返還の猶予といった対応を行ってきた。今回の定款変更で、貸与金の一部が返還義務の無い『給付』となることで、奨学生の負担がさらに大きく軽減されることになる」



学生寮費の値下げ、および15年度下期より家賃補助を開始した。東京・関西エリアで運営する学生寮である心塾(こころじゅく)の寮費を東京で月額1万円、関西で同1万5千円〜2万5千円に値下げしたほか、自宅外通学者に対して、毎月1万5千円の家賃補助を行うことにした」

「2017年3月の卒業生から、特別支援学校在籍者等に対する返還免除を開始した。特別支援学校高等部に在籍した方、およびそれと同程度以上の障がいをもつ、他の学校等に在籍した方を対象として、貸与した奨学金および入学一時金の全額を返済免除とした」

「また、17年度から生活保護を受給している方に対する返還免除を開始した。生活保護受給証明書を出した方については、その年度1年分の返還相当額である貸与総額の20分の1の額の返還を免除する。毎年の更新制としており、生活保護停止とともに返還免除は停止させていた」

「同じく17年度より、上級学校進学受験費用補助を開始した。高校奨学生が大学や専修学校などの上級学校に進学する際に、5万円を上限に受験料の補助を行う。また、18年度から各種資格取得費用補助として、普通自動車第一種運転免許および準中型自動車第一種運転免許の取得にあたり15万円を上限とした補助を開始した」

年1回の交流の場「じぶい」

—奨学金等以外の支援策は
「前述した支援策とあわせて、奨学生に対する指導育成にも力を入れている。奨学生の成績や生活状況の把握に加え、相談窓口を設け奨学生の生活や進学の悩みに応じる体制を敷いている。また、高校奨学生の海外語学研修事業を毎年継続して開催している。費用は全額当会負担とし、毎回約30人が夏休みの3週間を利用し、米国でホームステイをしながら語学教室に通うプログラムとなっている。英会話能力の向上とあわせ異文化

体験を目的としており、このプログラムは奨学生たちの精神的な成長の場としても評価をいただいている」

「また、奨学生とその保護者の交流や情報交換の場として『高校奨学生と保護者のつどい』を年1回開催している。同じ悩みを持つ奨学生や保護者の方々が語り、情報を共有することで将来を考えた、生活のヒントなどを得ていたという場となればと考えている。また、このつどいにおいて保護者からいただくいろいろなご意見は、本会事業改善に欠かせないものとなっている。このほか、地方の高校から首都圏や関西圏の大学、専門学校への進学者に対しては、東京と関西エリアに安価な寮費の学生寮である心塾(こころじゅく)を設け学生生活を支えている」

—今後の活動方針は
「これまでご支援いただいた方々の期待に応えるためにも、交通遺児の方々への支援の拡大と充実を力をつくして行きたい。一方で、交通安全啓発活動への積極的な参加や無料講演会等を通じて交通安全意識の向上を図りたい」